

Life
Support
TEDAKO

QSK

令和4年7月 No.238 発行部数 3,000 部
NPO 法人ライフサポートてだこ 代表/嵩原 満
〒901-2126 沖縄県浦添市宮城3-13-12
Tel. 098-875-2557 Fax. 098-875-2666
E-mail: lstedako@yahoo.co.jp HP: <http://www.lstedako.com/>

ひだまり通信

ひだまり通信にリニューアルします！

梅雨も明け、楽しい夏がやって来ましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？夏と言えば海やBBQ、家族や友達と出掛けたりと外出が楽しいですね。夏バテしない様にしっかりご飯を食べ、水分補給も忘れず夏を満喫しましょう！

さて話は変わりますがここで大事なお知らせがあります。タイトルにも書いてありますが、

この度！なんと！ひだまり通信がリニューアルする事になりました～！ 🙌🙌

春夏秋冬にちなんだ？4月、7月、10月、1月の発行となります。年4になるので毎月楽しみにして下さっている方には寂しいかも知れませんが、より質を高め、皆様に読んで楽しい！私もここで働きたい！と思ってもらえる様なひだまりを発信して行きますので、今後ともご愛読の程よろしくお願いいたします。



会 員 募 集

NPO法人ライフサポートてだこは、「福祉を通して沖縄の幸せを創造し続けます。すべての人が愛する街でいつまでも自由に安心して暮らせるようお手伝いします。」という経営理念のもと活動しています。私たちの活動を応援して頂ける方を募集します。

- 正会員のお申込み (7,000 円)
- 賛助会員のお申込み (3,000 円)

～お問い合わせはこちらまで～

FAX: 098-875-2666

メール: lstedako@yahoo.co.jp

小規模多機能ホーム

あん日記

あん夏の活動報告その1

♪ガーデニングクラブ♪



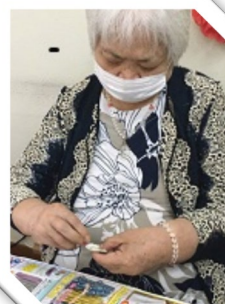
ゴーヤーも成長良く、花も植えて
花も咲き始めてます。



長い梅雨の季節もすぎ夏真っ盛りですね！あんの
おじいおばあは今年度活動目標の1つ、ガーデニ
ングクラブ、ものづくりプロジェクトを始めてお
ります。素敵な時間が流れております。

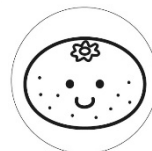
ものづくりプロジェクト

現在貝殻を使ったお守
りを制作中。利用者さん
にプレゼントする予定
です。



オレンジめーる

By ヘルパーステーションりん



『オレンジめーる』ではヘルパー（訪問介護員）の利用方法やヘルパーのできること、できないこと、どうやってヘルパーになれるかなどのご紹介をしてきましたが、『登録ヘルパー』って聞いたことはあるけど、どんな働き方をしているのかあまり知られていないと思いますので、今回は『登録ヘルパー』について少しお話させていただきます。

☆登録ヘルパーとは？



自分が働きたい時間や曜日を決めて訪問介護事業所に登録。在宅で介護を必要とする方の自宅を訪問して、入浴や食事、排せつなどの身体介護、掃除や洗濯、料理、買い物などの生活援助を行います。訪問して働いた時間分の時給が給料となります。

自宅から直接利用者様宅へ向かい、サービス終了後はそのまま帰宅することも可能です。※報告、連絡、記録や相談等があるときは事業所へ行くこともあります。

時間的に自由な働き方ができるので、自分のライフスタイルに合わせて（子供が学校に行っている間の数時間だけなど）働くことができるのが良いところです!!

♪ スマイル通信 ♪ from デイサービスセンターえん

ハラハラ！ドキドキ！黒ひげ危機一髪～🚩



飛ぶなよ飛ぶなよ～



飛んだーっ！！
まだ序盤なのに～(笑)



真剣勝負
🔥



DAYSERVICE.ENN

懐かしの黒ひげ危機一髪ゲーム～！！
初めてやるという方がほとんどで、慎重になるのかと思っていましたが…「こんなの迷っても仕方ないさ！」と勢いよく刺していく皆さん😅
刺すたびに側にいる職員の悲鳴が聞こえてきたのが面白かったです（笑）

お知らせ

☆☆ 求人募集 ☆☆

主任介護支援専門員、介護支援専門員、
保健師・看護師、社会福祉士
勤務時間：8時30分～17時30分
休日：土・日・祝日・その他
賃金：205,000円 ～ 300,000円
（交通費別）

いつか居宅介護支援（ケアマネ）で起業を
考えている方も一度遊びに来てくださ
い！！

※↓こちらにも募集してます↓※
☆児童デイサービスこっこ 児童指導員
☆小規模多機能ホームあん 介護士
お問い合わせ：098-875-2557（泉水）

ていーだカフェ☕

（認知症のことや介護など交流の場）

7月23日 土曜日

（10:00～12:00・14:00～16:00）

場所・えんカフェ（浦添市宮城3-9-18）

令和4年度から毎月第4土曜日に開催
いたします。認知症のことや高齢者介
護の事など、一人で悩んでいません
か？話すことで気持ちが楽になった
り、解決の糸口が見つかるかも！ぜひ1
度おこし下さい。事前予約もOK！
（098-875-2557・よなは）

嵩原満のただいまタイトル考案中(@_@)

この立場になり多くの方とお話する機会、学びを得る機会が増えている。何よりも、同じ空間で時間を共有する仲間との会話から多くの刺激を受け、自分の甘さ、感覚の違いなどを考えさせられること、思い出させられることが多数である。内容としては事務所内の清掃、利用者のケアサービス提供、組織の運営、駐車場にひょっこり顔を出す猫の話など様々であるが、その中に一つの「ライフサポートてだこはなぜ浦添限定ですか？」「市外に広げないんですか？」と組織内外から問われることがある。そのたびに20年前の記憶を掘り起こしながら「創業者が頑固者でねえ…」と創業者へ責任を押し付けつつ、自分の言葉、感覚で伝えてきたが、ここ最近この返答でいいのか、こんな感じだったか常に考えていた。

お客様との出会いが欲しかった創業当時、耳に当てた受話器越しの声を傾聴し、介護保険制度について説明、自社のサービスを精いっぱいお伝えし終わったら市外在住と聞き、一瞬沈黙し、電話主のお住まいの地域のサービス事業所を紹介してお断りさせていただいたことは少なくはなかった。そんなことから社内でも市外近郊にもサービス提供エリアを広げるべきではないかという声も上がっていた。

「ライフサポートてだこは絶対につぶれる」

そう宣言する人も出てきた。勿論それはライフサポートてだこの基本方針の一つとして「浦添市在住の方のみしか介護サービスを提供しない」ということだからである。その人は介護とは全く別の業界の会社の社長で。やり手でビジネスマンである。創業のころはたった一人で電話の一本で糸満から国頭まで夜中でも駆け回ったものだったと、彼は話してくれた。「いつでも呼んでください。どこでもすぐに飛んで行きます」それくらいの根性と気迫がなければベンチャー企業に仕事なんか来るもんか、というのが彼の主張である。民間介護会社などがひしめく浦添市にあって、弱小後発の私たちがあえてマーケットを自ら限定し、それを宣言していくことは、確かにビジネスの常識からは愚かだろう。しかし、それでも前述の基本方針を変えるようなことは私は思わない。それは、エリアは狭いほうが、一人一人にあった丁寧なケアができると信じているからである。それは、訪問への移動時間が短くて済むとか、送迎が楽だとか言うような低次元の話ではなく、「地域で地域を支える」という理念を貫いてみたいからである。浦添市で生きてきたお年寄りを浦添市で暮らす僕らが支えるのが理想だと思うからである。別の言い方をすれば、首里で暮らすお年寄りを支えるのに、首里で活動する事業所よりもいいケアを提供できる自信が浦添ンチュの私にはないのである。と同時に、それは、浦添ならどこにも負けないだけの介護ケアサービスを提供する自信と覚悟の裏返しでもある。介護という仕事はそういう性格を帯びたビジネスなのだと私は考えている、と創業者が話していたことを思い出した。

最新情報はライサポホームページをCHECK！⇒⇒⇒



LINEはこちら⇒⇒

